

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 9月 18日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県五條市西吉野町和田415-12

氏 名 畠山建設 株式会社  
代表取締役 畠山 龍晃

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-32-0104

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	畠山建設 株式会社
事業場の所在地	奈良県五條市西吉野町和田415-12
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 36,548万円
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生砕石として資源化 木くず→再生処理業者に委託し、肥料として再資源化 金属くず→再生処理業者に委託し、再生資源化 廃プラスチック類→優良認定処理業者に委託し、選別・処理

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物処理統括責任者



産業廃棄物処理担当者



各工事現場責任者 (現場代理人・監理技術者・主任技術者)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	2687.06 t	20.8 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排出量	4.06 t	t
(これまでに実施した取組)			
構造物撤去時における計測精度並びに破砕技術の向上により、排出量を設計比+5%以内に収まるよう努めた。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	2500 t	20 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	排出量	5 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
構造物撤去時における計測精度並びに破砕技術をより向上させ、排出量を設計比+3%以内に収まるよう緻密な施工に努める。			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別・保管する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和： 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和： 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) —			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) —			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	2687.06 t	20.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2687.06 t	20.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	4.06 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.06 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理を行い、最終処分量の低減を図る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	2500 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	2500 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	—
	全処理委託量	5 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	再資源化において高率化の事業者を選定する。 優良処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認をする。		
	※事務処理欄		